

# すすめよう！男女共同参画

問合せ

役場企画課企画調整係  
(内線212)

## ◆育児をするパパって、かっこいい！

厚生労働省が平成22年に「イクメンプロジェクト」を発足させてから「イクメン」という言葉が全国に広がっています。「イクメン」とは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性、また、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のことです。しかし、子育てに積極的に関わりたいと考えている男性の中には、育児休業などの制度を活用しにくい雰囲気や、周囲の人が残っていると退社しにくい雰囲気があると感じている人もいます。その結果、約3割の男性が「育児休業を取得したい」と希望している一方で、実際の取得率は2.65%（※1）にとどまっています。

平成21年に男性も子育てしやすい社会の実現に向けて育児・介護休業法が改正されました。これにより、男性が育児休業を取得しやすい環境づくりへと大きな一歩を踏み出しています。

少し前までは、男性は仕事、女性は家事や育児をするものと考えられてきましたが、今は家事や育児の責任も、

そして楽しみも共に分かち合う時代となっています。積極的に育児に関わることで、人生の楽しみや喜び、生きがいがいさらに大きくなり、家族の絆も広がるでしょう。

※1 厚生労働省「平成27年度雇用均等基本調査」

## ◆ワーク・ライフ・バランスの実現を

仕事が忙しすぎて子育てに関わるできないなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。それを解決する取り組みが、仕事と生活の調和「ワーク・ライフ・バランス」です。

家事や育児に関わる時間を作るためには、勤務時間など、時間の使い方を見直す必要があります。早く仕事を切り上げるために、仕事の仕方や進め方を見直すことで、効率よく仕事ができるようになる場合もあります。

1日の時間は限られていますが、やらなくてはならないことは山ほどあります。「ワーク・ライフ・バランス」を実現するために、仕事に育児、限られた時間を有効に使いましょう。